

鳥取県沿岸に漂着した大型動物および漁獲された 稀な動物の記録（2006年～2007年）

川上 靖¹・一澤 圭・安藤重敏

〒680-0011 鳥取市東町2-124 鳥取県立博物館

¹ E-mail: kawakamiy@pref.tottori.jp

[受領 Received 20 January 2008 / 受理 Accepted 8 February 2008]

Records of marine animals stranded on the coast of Tottori Prefecture, Honshu, Japan
from 2006 to 2007, with notes on rare animals in the Sea of Japan

Yasushi KAWAKAMI¹, Kei ICHISAWA and Shigetoshi ANDO

Tottori Prefectural Museum, Higashi-machi 2-124, Tottori, 680-0011 Japan

はじめに

鳥取県立博物館では、鳥取県沿岸（他県の近隣地域を含む）に漂着した海洋動物の記録を定期的に報告し、あわせて研究に供するため可能な限り標本として保存してきた（川上2002; 川上ほか 2004, 2006）。記録された動物には捕獲が困難で稀な大型動物も多く、これら不明な点の多い海洋動物の生態や分類の解明に貢献してきている。また、これらの記録は、定量的な調査に基づいたものではないが、漂着動物は海洋環境の変化により衰弱・死亡し漂着するものが多いと考えられるので、記録を継続して集積・整理していくことが環境変化の指標となっていくことも期待される。

本報告では、2006年から2007年にかけて鳥取県沿岸に漂着した大型の海洋動物と、混獲などで得られた動物のうち日本海での記録報告の少ない種類について報告する。なお、これらの記録は、鳥取県立博物館において調査および確認できたものだけである。

鳥取県沿岸の漂着動物と稀種（2006年～2007年）

2006年から2007年の間に鳥取県沿岸および近隣域に漂着した大型の海洋動物を表1にまとめた。また、漂着ではないが、定置網などで混獲された稀種について表2にまとめ記録に残した。テングノタチ *Eumecichthys fiskii* は極めて稀な魚種であるが、鳥取県および近隣域では2002年10月1日鳥取県青谷町沖での記録に続き2回目の記録となった（図11）。スミツキザメ *Carcharhinus dussumieri* は、南日本から北部イン

ド洋に分布する南方系のサメであるが（仲谷 1984）、兵庫県新温泉町沖で混獲された（図12）。

今回の漂着記録で特筆すべきは、オウギハクジラ *Mesoplodon stejnegeri* とハナゴンドウ *Grampus griseus* のクジラ類の漂着である（表1; 図1）。オウギハクジラは約5mの雄が計2個体漂着した。鳥取県では、過去の確実な記録として以下の5例が知られている：1992年1月25日鳥取市賀露海岸（体長4.8 m, 雄：当館標本番号943-0101-01；安藤 1993）、1995年2月27日岩美町浦富海岸（体長5 m, 雌：当館標本番号943-0101-02；田村 1996）、1997年2月24日湯梨浜町宇野海岸（体長4.5 m, 雄：当館標本番号TRPM-AMa-0000001）、1998年4月4日鳥取市酒津海岸（体長3.98 m, 雌：当館確認記録）、1999年5月28日鳥取市青谷海岸（体長4.73 m, 雄：当館確認記録）。ハナゴンドウについては、2005年6月2～3日に米子市で迷入（ライブストランディング）があり、これが確かな記録としては県内初であった（川上ほか 2006）。今回の2006年2月漂着の個体は2005年の個体と同一個体である可能性もあるが、鳥取県では2年連続の記録となった。

アオウミガメ *Chelonia mydas* は、2001年11月に鳥取県で初めて記録されて以降、2004年まで毎年連続して記録されているが（川上ほか 2006）、2006年9月にも近隣の兵庫県新温泉町沖で記録された（表2）。

マンボウ類については、ヤリマンボウ *Masturus lanceolatus* の雄1個体が漂着し（表1; 図2, 3）、マンボウ *Mola mola* は265 cmの大型個体を含む複数個体がま

き網で混獲された (表2; 図7, 8)。過去の鳥取県の記録では、ヤリマンボウはすべてが冬季における海岸への死体の打ち上げ漂着であり、一方でマンボウはおもに秋から冬における定置網やまき網での生体の混獲で

ある (川上 2002; 川上ほか 2004, 2005, 2006)。マンボウ類は日本海では太平洋側と比べ漁獲量や記録が極端に少ない魚類でもあり (相良・小澤 2002a, b), 全国規模でのデータ収集と分析が望まれる。

表1 鳥取県沿岸および近隣域に漂着した海洋動物 (2006年~2007年)

種 類	個体数	性別	場 所	サイ ズ	発 見 日	備 考
ハナゴンドウ <i>Grampus griseus</i> (クジラ目マイルカ科)	1	♀	【漂着】 東伯郡北栄町国坂 北条海岸 (メッシュコード: 5333-1696)	全長: 350 cm 上顎から噴気孔: 33 cm 胴回り: 180 cm 背鰭高: 35 cm 手羽長 (前縁): 63 cm 尾羽の広がり長: 76 cm	2006年2月11日	発見時死亡。 全身の皮膚はほとん どはがれた状態。 写真: 図1
テンガイハタ <i>Trachipterus trachipterus</i> (アカマンボウ目フリソデウオ科)	1	?	【漂着】 岩美郡岩美町大羽尾港	全長: 173 cm	2006年3月4日	(冷凍保管中)
オウギハクジラ <i>Mesoplodon stejnegeri</i> (クジラ目アカボウクジラ科)	1	♂	【漂着】 鳥取市伏野 伏野海岸	全長: 約5 m 体重: 約900 kg	2006年3月6日	島根県立しまね海洋 館アクアスが引き取 り、骨格標本となっ た。
	1	♂	【漂着】 東伯郡琴浦町八橋 八橋海岸	全長: 約5 m	2006年5月25日	砂浜に埋設。
ゴマフアザラシ <i>Phoca largha</i> (ネコ目アザラシ科)	1	♂	【漂着(ライブスタンディング)】 東伯郡琴浦町赤碓 菊港	全長: 約1 m (目測) 体重: 22 kg	2007年1月4日	発見時、肺炎で衰弱、 山根動物病院 (倉吉 市) にて治療を受け た。1歳くらいの幼 獣とみられる。
ヤリマンボウ <i>Masturus lanceolatus</i> (フグ目マンボウ科)	1	♂	【漂着】 鳥取市伏野 伏野海岸	全長: 132 cm 体高: 70 cm 背鰭長: 43.5 cm 臀鰭長: 41 cm 舵鰭長: 25.5 cm	2007年1月10日	写真: 図2, 図3 (精巢)
アカウミガメ <i>Caretta caretta</i> (カメ目ウミガメ科)	1	?	【漂着】 鳥取市浜坂 砂丘海岸	標準直甲長: 65 cm 最小直甲長: 60 cm 直甲幅: 57 cm	2006年4月2日	計測後、砂浜に埋設。 同年10月8日、同じ 場所で同一個体と見 られる骨 (背甲の一 部) を発見。 写真: 図4
リュウグウノヒメ <i>Pterycombus petersii</i> (スズキ目シマガツオ科)	1	?	【漂着】 鳥取市白兔 白兔海岸	全長: 33 cm	2007年5月9日	波打ち際で弱ってい た。 写真: 図5 (冷凍保管中)

表2 鳥取県沿岸および近隣域で確認された稀な海洋動物 (2006年~2007年)

種	類	個体数	性別	場所	サイズ	発見日	備考
アオウミガメ <i>Chelonia mydas mydas</i> (カメ目ウミガメ科)		1	?	【混獲】 兵庫県美方郡新温泉町 釜屋沖	全長：約1 m (目測) 甲長：約85 cm (目測)	2006年9月7日	定置網にて混獲。 写真撮影後、放流された。
アカウミガメ <i>Caretta caretta</i> (カメ目ウミガメ科)		1	♂	【混獲】 米子市新開 皆生漁港	標準直甲長： 73.7 cm 最小直甲長： 72.5 cm 直甲幅：62.4 cm 体重：54 kg	2006年8月8日	パイ籠のロープに前脚がからみついた状態で引きあげられた。 写真：図6 剥製標本として保管 (登録番号：TRPM-ARA-0000002)
稚ガメ (アカウミガメ?)		1	?	【目視】 鳥取市気高町 八束水トンネル西側の海岸	全長：約10 cm (目測)	2006年8月28日	体色は茶色。波打ち際で泳いでいた。 アカウミガメの稚ガメと思われる (発見者談)。
		1	?	【混獲】 兵庫県美方郡新温泉町 金谷沖	全長：約30 cm	2007年5月3日	定置網にて混獲。 (冷凍保管中)
マンボウ <i>Mola mola</i> (フグ目マンボウ科)		1	?	【混獲】 東伯郡琴浦町 赤碕沖25~30 km (水深20~30 m)	全長：165 cm 体高：89 cm 背鰭長：65 cm 臀鰭長：65 cm 体重：210 kg	2007年7月24日	まき網にて混獲。 写真：図7 (冷凍保管中)
		1	♀	【混獲】 島根県隠岐海峡 (美保関灯台北北西 約36 km) 鳥取県境港市に水揚げ	全長：265 cm 体高：149 cm 背鰭長：86 cm 臀鰭長：92 cm 体重：1.32 t	2007年11月15日	まき網にて混獲。他に約1 mのマンボウ2個体も入っていた。 卵巣確認。 写真：図8
ユキフリソデウオ <i>Zu cristatus</i> (アカマンボウ目フリソデウオ科)		1	?	【混獲】 鳥取市青谷町長尾鼻沖 水深50 m	全長：79 cm 尾叉長：74 cm 体高：15.2 cm	2006年2月19日	底曳網にて混獲。 写真：図9 剥製標本として保管 (登録番号：TRPM-AP-0000004)
リュウグウノツカイ <i>Regalecus glesne</i> (アカマンボウ目リュウグウノツカイ科)		1	?	【混獲】 兵庫県美方郡新温泉町 釜屋沖 (水深35 m)	全長：95 cm	2006年5月28日	定置網にて混獲。 写真：図10 (ホルマリン保管中)
テングノタチ <i>Eumecichthys fiskii</i> (アカマンボウ目アカナマダ科)		1	?	【混獲】 兵庫県美方郡新温泉町 釜屋沖 (水深35 m)	全長：135.5 cm	2006年9月14日	定置網にて混獲。 写真：図11 剥製標本として保管
スミツキザメ <i>Carcharhinus dussumieri</i> (メジロザメ目メジロザメ科)		1	♀	【混獲】 兵庫県美方郡新温泉町 釜屋沖	全長：121 cm	2006年5月30日	定置網にて混獲。 写真：図12 (冷凍保管中)
		1	?	【目視】 鳥取市伏野沖約 3.6 km	全長：約2.5 m (目測)	2007年7月23日	漁船が発見。
シュモクザメの一種 (メジロザメ目シュモクザメ科)		1	?	【目視】 鳥取市 鳥取空港西側沖 200~300 m	全長：約2 m (目測)	2007年7月31日	県消防防災航空室のヘリコプターが発見。



図1. ハナゴンドウ

2006年2月11日 鳥取県北栄町北条海岸（漂着）



図4. アカウミガメ

2006年4月2日 鳥取市浜坂砂丘海岸（漂着）



図2. ヤリマンボウ♂

2007年1月10日 鳥取市伏野海岸（漂着）

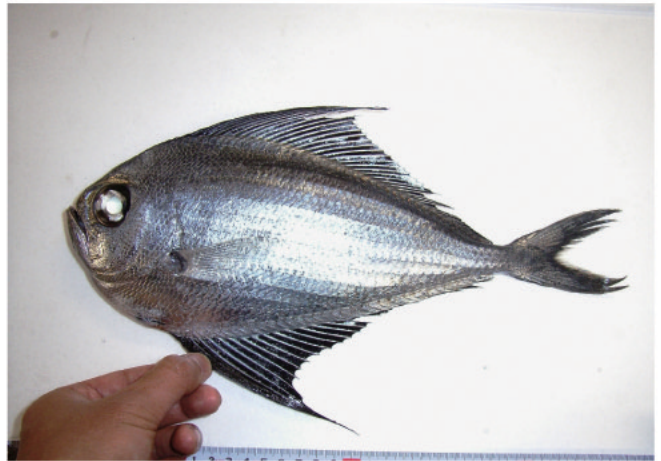


図5. リュウグウノヒメ

2007年5月9日 鳥取市白兔海岸（漂着）



図3. ヤリマンボウの精巢

2007年1月10日 鳥取市伏野海岸（漂着）



図6. アカウミガメ♂

2006年8月8日 米子市皆生漁港（混獲）
※撮影：同年9月1日